

「飯山市立城北小学校」への願い

「飯山市立城北小学校」は、泉台小、常盤小、戸狩小、東小の4つの小学校が統合し、城北中学校に隣接した長峰丘陵の北端部に開校します。「飯山市立城北小学校」を卒業した大半の子ども達は、隣接する城北中学校に通うこととなります。そこで、小中学校の連携によって、9年間の育ちを見通した、小中連携教育カリキュラムをもとにした教育(キャリア教育も含む)が実践されることを基盤として、将来、自立して生き抜く力を身に着けるような学校にしていきたいと願っています。4つの小学校区には、富倉、柳原、外様、戸狩、岡山、常盤、瑞穂の7つの地区があり、そこから子どもたちが通ってくるこの地は、子どもたちがお互いを理解し、多様性を認め合い、協力したり鍛え合ったりして、小学校時代を過ごす場所であり、自分の夢の実現に向けた基礎的な力を養う学校を目指しています。

校名については、小中学校が連携した教育を大切にすることに加え、平成22年度の城北中学校の開校以来「城北」という名称が地域に根付いて認知度も高いことから、子どもも大人も愛着をもち、馴染んでいただける名称として、校名を「飯山市立城北小学校」と決定しました。地域の方々や子どもたちの要望、教育委員会の統合小学校に寄せる願いをこめた校名となっております。